

⚡ 電気製品からの火災を 防ぎましょう ⚡

暮らしに欠かせない電気も、使い方を誤ると火災につながります。

鴻巣市・桶川市・北本市においても電気製品からの火災が起きています。

【電気製品からの火災を防ぐポイント】

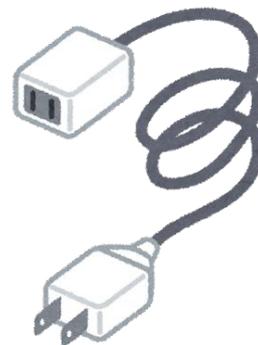
電気製品全般

- ・取扱説明書をよく読む。
- ・自分で修理や加工をしない。
- ・古くなった電気製品は業者に点検を依頼する。
- ・異常がみられる場合は使用せずに販売店やメーカーに相談する。



コンセント・プラグ・コード

- ・たこ足配線はしない
- ・プラグはしっかり差し込む
- ・コンセントにほこりをためない。
- ・コードは引っ張ったり強く折り曲げたりしない。
- ・コードを家具等により踏みつけたりしない。
- ・コードは束ねたまま使用しない。



【主な電気火災の原因】

電気機器の使用不良

- ・ヒーターを消し忘れるなど注意不足から火災となることがあります。また電気機器の近くに燃えやすいものがあると、接触して出火したり、延焼の原因となります。
- ・誤った使い方をすることにより出火する恐れがあります。取扱説明書をよく読み、禁止事項や注意点を守りましょう。

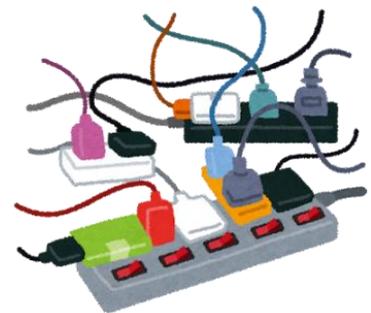


コンセント・差し込みプラグからの出火

・過電流

コンセントや延長コードは許容電流が決まっています。たこ足配線などにより許容電流を超えて使用し続けると、発熱して出火するおそれがあります。

また、コンセントの差し込み数が少なくても電子レンジやオーブントースターなど消費電力の多いものを同時に使用すると許容電流を超えることがあります。



・トラッキング現象



コンセントとプラグの隙間にほこりがたまり、湿気を吸うことで漏電し発火する現象をトラッキング現象といいます。

家具の裏など目につきにくいところで起きやすく、火災に気づくのが遅れる恐れもあります。

・電気配線の短絡(ショート)

コンセントに差し込む際にクリップを挟み込んでしまったり、コードの劣化や強い折れにより短絡(ショート)し発火する恐れがあります。

・過熱

コンセントの差し込みが不十分、またはコードを強く折り曲げたり、家具に挟まれたりすることで半断線になった場合、抵抗が増え発熱して出火する恐れがあります。

また、コードを束ねたまま使用した場合、熱が放出されず過熱する恐れがあります。

自分で電気工事を行う。

電気について専門的な知識がない方が電気製品の加工や修理した際に、処理が不十分で出火する恐れがあります。電気工事は専門の業者に依頼しましょう。



【火災が起きたら消防署に通報を】

「すぐ消えたから」と放置して、数日後に通報するということがみられます。

早期の通報をお願いします。

この記事の問い合わせ

埼玉県央広域消防本部 予防課

048-597-2004